

●過去の白馬会議出講者（第4回～第10回）●（肩書は出講時・敬称略）

第4回 再起動せよ！ニッポン：御厨貴（東京大教授）武者陵治（武者リサーチ代表）黒田篤郎（経済産業省審議官）飯田哲也（環境エネルギー政策研究所所長）第5回 問いつめ直せ！日本の立ち位置：小黒一正（一橋大経済研究所准教授）田代秀敏（ビジネス・ブレークスルー大教授）澤昭裕（経団連・21世紀政策研究所主幹）水谷翔太（大阪市天王寺区長）第6回 起死回生！ニッポン：金子隆一（国立社会保障・人口問題研究所副所長）郭四志（帝京大学経済学部教授）三輪晴治（バイサンド・ジャパン社長）塚越寛（伊那食品工業会長）第7回 21世紀世界と日本の挑戦：上田清司（埼玉県知事）斎藤進（三極経済研究所代表）加藤久和（明治大学教授）鶴岡秀志（信州大学アクアイノベーション拠点研究員）第8回 “戦後70年”後の日本を問う！：武者陵司（武者リサーチ代表）渡部恒雄（東京財団上席研究員）金田義行（名古屋大特任教授）松田公太（参議院議員）第9回 アジアの中の日本：唱新（福井県立大教授）小谷哲男（国際問題研究所主任研究員）渡辺靖（慶應義塾大教授）トラン・ヴァン・トウ（早稲田大教授）第10回 超人口減少社会ニッポンの衝撃：杉浦哲郎（日本経済調査協議会専務理事）佐々木信夫（中央大経済学部教授）秋山弘子（東京大高齢社会総合研究機構特任教授）新将命（国際ビジネスブレイン代表取締役）

【参加費用】1名3万4千円（1泊4食の滞在費及び会議参加料）

※部屋はデラックスツインの1名使用。同室を2名で使用する場合は1名3万円。家族同伴の場合についてもファミリースイートの使用を含め割引価格で対応。 ※日帰り参加等、参加形態による減額調整あり。

【参加定員】80名。定員になり次第締め切り。

【参加申込方法】下記コンタクト先の白馬運営委員会宛てに「参加希望」と明示し、氏名・所属・住所・TELを記してメールまたはFAX。折り返し会議資料・参加費請求書を送付。ホームページからの申し込みも可。

【コンタクト先】〒206-0031 東京都多摩市豊ヶ丘5-3-5-201 白馬会議運営委員会

E-mail : ichi@gb3.so-net.ne.jp http://www.hakubakaigi.com/ TEL : 090-3694-5042 FAX : 042-373-1797



セッションからセッションへ白熱討論が続く



その後はチェロ&ピアノにうっとり



古民家源泉かけ流し湯でゆったり

第11回 白馬会議 2018

信州白馬に生まれる
「ダボス会議空間」へ
ようこそ!

「西のダボス、東の白馬」——白馬会議は学会でも、財界セミナーでも、専門家有識者会合でもない。この会議の醍醐味は、一人一人の“知的個人”がそれぞれの生きざまやバックグラウンド、問題意識を持って北アルプスの麓に集まり、毎年白熱討論を重ねるところにある。(第1回白馬会議開会宣言より)

統一テーマ

大丈夫か？日本のイノベーション！

——4つの壁（組織・財政・技術・防衛）を突破せよ——

新元号の日本に「新しい時代」は始まるのか。どうもその勢いに欠ける。戦後発展の行き詰りなのか？平成の疲れなのか？…この国には今、従来の発想や仕組みを突き破る新たなイノベーションが必要だ。

第1セッション 「“村度・改竄・隠蔽”を追い出すイノベーションとは？」菊澤研宗氏（慶應義塾大学商学部教授）

第2セッション 「“第二の敗戦”（財政破綻）回避のイノベーションとは？」小黒一正氏（法政大学経済学部教授／元財務省財務総合政策研究所主任研究員）

第3セッション 「“技術劣国化”を阻止するイノベーションとは？」鶴岡秀志氏（信州大学カーボン科学研究所特任教授）

第4セッション 「“日本を守る”自衛隊のイノベーションとは？」矢野義昭氏（東京工業大学客員講師／元第一師団副師団長兼練馬駐屯地指令・陸将補）

期 間 2018年11月17日(土)～18日(日)

会 場 長野県白馬村「シェラリゾート白馬」

【東京駅から約2時間半】北陸新幹線で長野駅下車、白馬駅直行バス利用
【名古屋駅から約3時間】松本駅で特急乗り継ぎ白馬駅下車

※交通アクセス詳細は白馬会議HP参照（http://www.hakubakaigi.com/）

主 催 白馬会議運営委員会

協 賛 長野銀行
武者リサーチ

後 援 長野県経営者協会
『世界経済評論』（国際貿易投資研究所）

大丈夫か？日本のイノベーション！

—— 4つの壁(組織・財政・技術・防衛)を突破せよ ——

第1セッション 「“付度・改竄・隠蔽”を追い出すイノベーションとは？」

〔基調報告者〕菊澤 研宗 氏（慶應義塾大学商学部教授）
 論点●イノベーションの源泉であり、現場であるべき日本の組織がおかしい。立て続けに発覚する大手企業を中心とした不祥事の渦は霞が関・永田町を巻き込み、スポーツ団体、地方金融等、様々な領域の組織に波及し続けている。戦後発展の原動力になって来た「日本型組織」の病巣をえぐると、“付度・改竄・隠蔽”の三重音が聞こえて来る。ではどうするか？防衛大学校で試みた旧日本軍の組織研究に米国型経営理論を重ねる菊澤氏は、組織メンバーの自律的な価値判断を引き出す哲学的マネジメントにこそ、組織疲労の加齢臭を吹き飛ばすイノベーションの突破口があると提起する。

第2セッション 「“第二の敗戦”(財政破綻)回避のイノベーションとは？」

〔基調報告者〕小黒 一正 氏（法政大学経済学部教授／元財務省財務総合政策研究所主任研究官）
 論点●日本のイノベーションの背骨の1つが国家財政であることは誰も否定しない。只、それが未曾有な危機状況にあることについては、もう諦めたのか？声高に警告を発する経済学者は少なくなった気がする。小黒氏は別格だ。日本は150年前の明治維新から約80年後に1945年の敗戦を迎えたが、そこから80年後の2025年、このままだければ財政破綻という“第二の敗戦”を迎えざるを得ないとする小黒氏は、医療費支出における年金型マクロ経済スライドの導入等、財務省脱藩の経済学者ならではの大胆提案を打ち続けている。

第3セッション 「“技術劣国化”を阻止するイノベーションとは？」

〔基調報告者〕鶴岡 秀志 氏（信州大学カーボン科学研究所特任教授）
 論点●30年前中国の10倍あった日本の研究開発費は2015年実績で17兆円と中国の42兆円に大きく水をあけられ、「3年後に実用化技術を目指す…」という新聞報道の99%が実現されず、安倍政権肝煎りの大型研究開発プロジェクトは迷走し、現場若手研究者の8割が日本の科学技術競争力は低下したと感じている。このまま日本は“技術劣国化”の坂を駆け落ちるのか？信州大学でナノカーボンの世界的権威遠藤守信氏と研究活動を続ける鶴岡氏は、工学部の「理学部化」批判、技術立国の宣伝営業力強化、知財のブラックボックス化、「破壊的イノベーション」への挑戦と大胆な奇策を繰り出す。

第4セッション 「“日本を守る”自衛隊のイノベーションとは？」

〔基調報告者〕矢野 義昭 氏（東京工業大学客員講師／元第一師団副師団長兼練馬駐屯地指令・陸将補）
 論点●自衛隊とは何か？言うまでもなく、日本国民を軍事的災害（外国軍の侵略）と大規模自然災害から守る存在である。その自衛隊を憲法9条に明記する議論もあるが、果たして自衛隊の「防衛力」はこの国を守るのに十分なもののか？イラク日報問題で揺れたシビリアンコントロールはほんとに信頼できるのか？“日本を守る”自衛隊のイノベーションが問われる。矢野氏は京大で機械工学と中国哲学史を学んだ後、陸上自衛隊幹部候補生学校に飛び込み、「制服組」トップまで登りつめた異色自衛官。普通の民間人のわかる言葉で自衛隊の実態と国民的課題を語ってくれる。

タイムテーブル

時間	プログラム	進行	
12:30	オープニングランチ	ホテルに着きましたら正面受付で「名札」を取り、手荷物を持ったまま2階ホールのランチ会場に直行、お好きなテーブルに着席しランチ開始です。お食事中、お一人30秒程の自己紹介をお願いします。	
13:20	第1セッション〈組織〉 「“付度・改竄・隠蔽”を追い出すイノベーションとは？」	第1セッションスタート。先ず、菊澤さんから基調報告50分、その後5分位の簡単なコメント（感想）に対してリプライを頂いたら、テーブルを囲む参加者同士で菊澤報告に関する気楽な意見交換を10分。残りの時間で会場と菊澤さんとの間でQ & Aを展開します。	
14:46	第2セッション〈財政〉 「“第二の敗戦”(財政破綻)回避のイノベーションとは？」	第1セッション同様の段取りで第2セッションが小黒さんの基調報告で始まります。会場には熱いコーヒーや紅茶がセットされますので自由にお飲み頂きながら議論を続けてください。	
16:12	チェックイン・タイム	1階受付デスクでルームキーを取り各自チェックイン。お部屋に荷物を置いたら、2階ホールへお戻りください。	
16:34	第3セッション〈技術〉 「“技術劣国化”を阻止するイノベーションとは？」	第3セッションが鶴岡さんの基調報告で始まります。白熱討議が続きますがもうひと頑張り。このセッションの後は休憩をはさんで、チェロ・ピアノコンサート、カクテルレセプション、豪華ディナーが続きます。	
18:00	休憩	ホットー息。討議資料類は全てお部屋に置いて、手ぶらでコンサートが始まる2階ホールへお戻りください。	
18:25	チェロ & ピアノコンサート	信州指折りのチェリスト原香恋さんに、相性びったりのピアニスト武井純子さんが奏でる天界の調べにうっとり。討議セッションの緊張・興奮を程よく鎮め、まだまだ続く白馬時間を楽しんでください。	
19:10	カクテルレセプション	2階ホールはディナーの準備に入りますので、階下のレセプションフロアに移動。特製おつまみとカクテルでひと時の歓談タイム。一口スピーチも大歓迎。	
19:40	テーブルディナー	白馬が誇る国際的名シェフ、ピエール金澤さんによる渾身の本格ディナーが始まります。「名札」の裏に表示してますテーブルへご着席ください。デザートタイムではとっておきのナイトトークをお願いします。	
21:15	自由 & 交流タイム	シェラリゾート自慢の古民家仕立て源泉かけ流し湯につかるもよし。レセプションフロアのフリードリンクを楽しみながら語らうもよし。お部屋で本日の討議をレビューし明日に備えるもよしです。	
11月18日(日)	7:00	朝食（この時間帯でご自由に）	朝食バイキングは和洋折衷超豪華。流れる小滝を望む1階奥のレストランで白馬の秋の味覚をお楽しみください。朝食後チェックアウトを済ませ、手荷物を持ってウエークアップスピーチが始まる2階ホールへ。
	8:30	ウエークアップスピーチ	参加者の皆様の中から4名の方をノミネートさせて頂き、目が覚めるようなトピックスをそれぞれ15分間でお話してもらいます。
	9:30	第4セッション〈防衛〉 「“日本を守る”自衛隊のイノベーションとは？」	4つ目のセッションが矢野さんの基調報告で始まります。前日の3つのセッション討議と連動する形で今年の白馬会議の全体像が見えて来るはず。そして議論は総括へ。
	10:56	クロステーマセッション 「大丈夫か？日本のイノベーション！」	各セッションの基調報告者同士がお互いの報告テーマをクロスさせながら、統一テーマ「大丈夫か？日本のイノベーション！」を巡って忌憚のない議論をぶつけ合い、会場からの質問や意見も巻き込んで行きます。参加者一人一人が今年の白馬会議テーマへの自己の思いと実践への道筋を確かめていくクライマックスです。
	13:00	クロージングランチ	あっという間の白馬時間がエンディングを迎えます。知力・気力共に充実。ピエール金澤さん心づくしのランチで腹ごしらえをし、「明日からの現場」へCOME BACK。アンケート記入もお忘れなく！
14:00	解散	部屋の鍵は各自朝食後に返却ください。帰路の時刻表を確かめ、お忘れ物にご注意。では又、来年、再見！	